

発行人/福永哲夫 編集/事務局

発行人/令和3年3月31日

事務局/〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1

国士舘大学体育学部 身体運動学教室内

TEL : 0423-339-7224 FAX : 042-339-7247

E-Mail : jimukyoku@hotmail.co.jp

九州支部のトピックス (ニュース)

～万歳・澤田・植杉さん!～

日本ゴルフ学会の元九州支部長 (初代)・現本学会顧問である澤田芳男先生 101 歳, 九州支部参与, エイジ・シュート日本一の植杉乾蔵さん 97 歳, いずれも健在で「ゴルフと長寿」の輝かしい先輩を紹介します。

●澤田芳男: 熊本大学名誉教授 (元体質医学研究所所長) 1919 (大正 8) 年 12 月 15 日生, 101 歳, 万歳! 広島県尾道市出身, 熊本薬学専門学校 (現熊本大学薬学部), 熊本医学専門学校 (現熊本大学医学部) 卒業, 薬剤師・医学士, 医学博士



であり, 臨床よりも研究者として体力・スポーツ科学研究の先駆者です。高校 (尾道商業) から専門学校を通して野球一筋の人生でした。後に, 王, 長嶋選手のバッティングを高速カメラで撮影し研究発表 (1967) されるほど野球をはじめスポーツ好きの先生です。その後, ゴルフに熱中され, 日本ゴルフ学会設立の 20 年前

(1967) には, 多くのプロゴルファーの動作分析を高速カメラ (撮影・分析は, 長尾愛彦先生の緻密な作業による) を使って研究・発表されています。

主なプロゴルファーでは, 平野勝之 (1967), 石井迪夫 (1968), 安田春夫 (1970), 石井富士夫, 謝敏男, F. Phillips, G. Wolstenhome (1972), 女子の佐々木マサ子・樋口久子プロ, その他多くの女子プロやアマチュア選手の報告があります。Golf Kinetic Analysis の先駆者でもあります。また, 文武両道, こけしと風の収集家

としても全国的に有名で, 好きな道を歩まれ「百寿」で幸せ人生の模範であり, 学会の誇りでもあります。ボケずに百寿は奇人です! さらなる長寿を祈念します。

●植杉乾蔵: 日本エイジ・シュート (A. S.) No. 1, 1923 (大正 12) 年 12 月 1 日生 97 歳, 万歳! 戦時中, 海軍の機関学校卒。戦後, 日産自動車の技術者として勤め (~55 歳), その後ボルボ (Volvo) 車の販売会社社長になられ, 元の車会社と酒造会社の社長に誘われて遊び程度のゴルフを始められた (当時 35 歳)。



その後, 60 歳を越えて本格的にゴルフに熱中され 71 歳で初めてエイジ・シュートを達成 (71=36+35)。それから益々腕を上げ, 95 歳時には, 1469 回の A. S. を達成されていた矢先, 盆の墓参りの時大男の人が階段から落下してきて体当たりされ, 骨盤上部腸骨を骨折, 6 ヶ月の入院・通院の治療と不運な人生体験をされました。退院後始めたゴルフで 3 回の A. S. をされ, その時の 1472 回そのまま現在を迎えられています。

おそらく同上のトラブルがなかったら, すでに 95 歳で 1500 回以上の A. S. は堅かったでしょう。でも, それに挫けず, 週一回は奥様と健康ゴルフを続けられています。ゴルフのルール・マナーが完璧で「神様・仏様, 植杉様」と我々のゴルフ仲間では敬愛しています。ゴルファーの模範であり誇りと言えます。内助の功の奥様と共に, さらなる健康寿命を祈念します。

(文責: 唐津邦利)

令和2年度支部活動報告

***** 東北支部 *****

①春季大会・理事会・総会

理事会・総会は書面開催。5月に資料を郵送した。

支部長を始めとする一部役員の変更など、審議事項について6月末を期限に意見を集約した。

会員の意見をもとに三役で審議結果を確定。その結果を総会の確定版資料として会員に郵送。

春季研修会とフィールドフォーラムは中止。

秋季理事会及び研修会は COVID-19 の感染状況を見て判断することに決定。

②秋季大会・理事会・研究会

COVID-19 の感染状況を見て理事会・研究会とも中止。

③臨時三役会 (zoomによるオンライン開催)

日時：令和3年3月16日(火)

理事会を開催することができなかつたため、臨時三役会を開催。

世界中で猛威を奮っている COVID-19 は私達東北支部の活動にも大きな影響を及ぼしました。その結果、令和2年度は計画していたほぼすべての支部活動を中止にせざるを得ませんでした。

2020年5月に COVID-19 の感染対策として、「人との接触を8割減らす」という方針が打ち出されたことを受けて、春に開催している定例総会は書面開催とし、総会と同時期に開催していた研修会は中止としました。書面で行われた総会では支部長を始めとする一部役員交代が正式に承認され、事務局も移動いたしました。また、八戸工業大学の大室先生から、ご自身の専門種目である野球のバッティングとゴルフのショットについてその共通点と相違点をテーマとしたコラムをご寄稿いただきましたので、確定版の総会資料とともに7月に郵送いたしました。

これは余談ですが、その頃筆者の居住地である岩手県では、7月になってもまだ感染者が確認されておりませんでした。その事自体は喜ばしいことでしたが、次第にニュースなどで「感染者未だにゼロ！」などと大きく報じられるようになると、県民は皆「第一号にはなりたくない」という大きなプレッシャーを受けることとなりました。感染することによって感染者本人や家族がバッシングを受けたという他県の事例を聞いてその思いが

一層強くなったことを覚えています。そのため、ゴルフどころか外出さえも気軽にできないような状況が続きました。こうした状況は夏を過ぎても大きく改善することではなく、9月には秋季研修会の中止を決定いたしました。結局、令和2年度の会員が集まって行う活動はすべて中止となりました。

今では COVID-19 に関する情報も増えてきて、感染リスクを避けながらも様々なスポーツを実施することが可能になりました。また、当時見られたような「生活行動すべてを自粛するべき」という、いわゆる「自粛警察」のような風潮も少なくなったような気がします。もちろん感染状況は日々変化するため、今後また感染者数が増加するようなことになれば話は別ですが、しっかりとした対策をとれば、ゴルフ自体に感染リスクが少ないことが理解されてきたのではないのでしょうか。一部報道では、ゴルフという競技の特性（屋外、ソーシャルディスタンスをキープしやすい、それほど呼吸が激しくならないので飛沫が飛びにくいなど）から、コロナ禍でもプレーできるスポーツとして再注目され、特にそれまでゴルフをしていなかった若い世代のゴルフ人口が増加傾向にあるというニュースがありました。こうした事例を見ても、COVID-19 によってもたらされた「ニュー・ノーマル」「ウィズ・コロナ」といった状況において、ゴルフの未来は決して暗くないような気がしています。支部会員数でみると厳しい状況が続いている東北支部ですが、できることを可能な範囲で継続していきたいと考えております。これからもよろしくお願いいたします。

***** 関東支部 *****

I. 諸会議の開催

役員会の開催

第1回：4月9日～4月11日（メール理事会）

第2回：5月8日～5月11日（メール理事会）、

第3回：11月11日（高千穂大学+Zoomのハイブリッド開催）

第4回：2月6日～2月9日（メール理事会）

2020年度日本ゴルフ学会関東支部総会
紙上総会（3月16日～3月18日）

II. 諸活動の実施

- 1) 2020年度第1回研修会：中止
- 2) 第13回救命救急訓練講習会：中止
- 3) 第30回合宿セミナー：中止
- 4) 2020年度日本ゴルフ学会関東支部研究助成（1件採択）

＜採択課題＞インソール型ウェアラブルデバイスを用いたショット時の足圧変数比較

研究代表者：樽谷恭明氏（株式会社スポーツラボ）

- 5) 第18回ゴルフフォーラム：中止
- 6) ゴルフ場におけるCOVID-19感染防止対策フィールド調査（3/29長竹CC、4組）【予定】

【令和2年度総会】

- ・令和3年3月16日～3月18日：紙上総会

******* 東海支部 *******

1. 第1回理事会
日時：2020年04月
場所：メール会議
出席者：18名 総数17/理事数17 過半数成立
議題 1) 2019年度事業報告並びに収支報告
2) 2020年度事業計画並びに予算計画について
3) 2020年度学会大会について

2. 支部総会
*コロナ禍の影響により中止

3. 研修会・ジュニア育成等
 - 1) 準会員講習会
日時：2020年06月毎木曜日（4回）18時30分～20時
2020年10月毎木曜日（5回）18時30分～20時
場所：ゴルフ倶楽部「大樹」瀬戸
*すべてコロナ禍の影響により中止

- 2) ジュニアゴルフ教室
日時：2020年08月01-02日（土日）10時～；延べ参加者数12名
2020年12月20日（日）10時～；参加者数11名
2021年3月28日（日）10時～；参加者数7名
場所：品野台カントリークラブ
主催：品野台カントリークラブ
協力：日本ゴルフ学会東海支部
*主催者側の要望によりコロナウイルス感染防止

対策が十分であることを確認し、実施した。

******* 近畿支部 *******

1. 総会
日時：令和2年7月9日（木）付
方法：郵送による審議
出席者：30名
なお、新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策のため、研修会は中止した。

2. 秋季研修会 →新型コロナウイルス感染予防・拡大対策のため中止

- 日時：
- 場所：
- 出席者：

3. 春季研修会

- 日時：
- 場所：
- 出席者：

理事会

1. 第1回理事会
日時：令和2年6月18日（木）付
方法：郵送による審議
出席者：15名
2. 第2回理事会 →新型コロナウイルス感染予防・拡大対策のため中止

- 日時：
- 場所：
- 出席者：

3. 第3回理事会

- 日時：令和3年5月（予定）
- 方法：郵送による審議
- 出席者：

・会計報告は4月1日～翌年3月31日迄。会計監査を令和3年4月に行う予定。

******* 九州支部 *******

第1回 令和2年6月6日(土) 日本ゴルフ学会九州支部 遠隔会議 出席者:4名

コロナ感染症対策下の会議開催、学会大会開催についてWEB ミーティングによる遠隔会議を行った。

内容については、以下。

審議事項

- (1) 本年度の学会大会の開催について
- (2) 今後の学会運営について
- (3) 次回会議開催について

第2回 令和2年7月10日(金) 11日(土) 日本ゴルフ学会九州支部 会議・研修会

出席者:4名

コロナ感染症対策下の学会大会開催について、鹿児島空港36カントリークラブにおいて、会議を実施した後、フィールド研修を行った。

審議事項

- (1) 本年度の学会大会の開催について
- (2) 今後の学会運営について

第3回 令和2年12月14日(月) 日本ゴルフ学会九州支部 研修会

出席者:4名

学会大会非開催を受け、熊本空港カントリークラブにおいて、理事メンバーのフィールド研修会を行った。

※令和2年度の学会大会は、集合開催を非開催として、遠隔開催等を協議してきたが、実施に至ることはできなかった。また、会員・理事メンバーの今後の動向、意向等をふまえ、九州支部の運営について、新たな取組を含めた、抜本的改革の必要性が確認された。

日本ゴルフ学会 第12期 役員、理事、監事、代議員

(2020年4月1日～2023年3月31日)

(1) 役員組織

- 顧問: 片岡暁夫、唐津邦利、澤田芳男
- 会長: 福永哲夫
- 副会長: 伊藤 章、坪田暢允
- 理事長: 角田直也
- 副理事長兼事務局長: 田中重陽
- 理事: 新井健之、池上久子、一川大輔、伊藤 章、片山健二、北 徹朗、下川隆司、竹下俊一、田中重陽、田沼信彦、恒藤光夫、角田直也、坪田暢允、福永哲夫、舛本直文
- 監事: 中尾敬治、長谷川純三

(2) 代議員

- 地方支部代議員
 - ① 北海道支部: なし
 - ② 東北支部: 澤村省逸、井上一彦
 - ③ 関東支部: 坂見敏夫、舛本直文、北 徹朗、一川大輔、新井健之、下川隆司、橋口剛夫、田沼信彦、浅井泰詞
 - ④ 東海支部: 坪田暢允、鶴原清志、池上久子、米川直樹、吉村篤司、稲嶋修一郎、吉里秀雄
 - ⑤ 近畿支部: 伊藤 章、恒藤光夫、大東将啓、中村辰三、貴嶋孝太
 - ⑥ 中国支部: 川村健一、松村公市
 - ⑦ 九州支部: 福永哲夫、中川保敬、野元政志、井口佳久
 - ⑧ 北陸支部: なし
 - ⑨ 四国支部: なし

■ 専門分科会代議員

- ① 人間学関連専門分科会：井上誠治
- ② 人体・技能論関連専門分科会：池川繁樹、川上泰雄、角田直也、福永哲夫、渡曾公治
- ③ 経済・経営・法律関連専門分科会：片山健二、中尾敬治、中川保敬、長谷川純三、西村國彦
- ④ 生態・環境論関連専門分科会：近藤良享、竹下俊一
- ⑤ 実践指導専門分科会：牧野尚彦、北 徹朗、高橋宗良、田中重陽

■ 地方支部支部長

- ① 北海道支部：なし
- ② 東北支部：澤村省逸
- ③ 関東支部：坂見敏夫
- ④ 東海支部：坪田暢允
- ⑤ 近畿支部：伊藤 章
- ⑥ 中国支部：川村健一
- ⑦ 九州支部：唐津邦利
- ⑧ 北陸支部：なし
- ⑨ 四国支部：なし